

**SUPER MINIMUM CHALLENGE**  
PILOT / TAKUSHI CHIKAKANE



We are Most Smallest & Most Precise WORLD CHAMPION!  
But still Challenge the Next Big Record

## スーパーミニマムチャレンジチーム協賛のご案内

2024 ボンネビルモーターサイクルスピードトライアルズ!



2023年11月23日 NSX-52は秋田大潟村ソーラースポーツラインでNSX-51が持つ世界最速記録を更新しました

[www.smc.co.jp](http://www.smc.co.jp)

Super minimum challenge プロジェクト本部

兵庫県西宮市戸田町 5-31 S-FORT西宮 2F (有限会社ダカーポ内)

Tel:0798-22-0913 Fax:0798-22-0910 e-mail:laluz@uranus.dti.ne.jp

プロジェクトリーダー：近兼拓史 (ちかかねたくし)

## ■ 企画主旨

日本のモノづくり技術の誇りをかけ、最小過給器クラスの世界最速記録を更新する！

ボンネビルスピードチャレンジは、アメリカで100年以上続くモータースピードの競技であり祭典です。

そこには毎年8月、世界中からスピードに挑む男たちが集まり、マシンと己の限界を目指し戦っています。

エンジンのついた乗り物ならなんでもOK! 世界一早い乗り物を決めよう! というシンプルなルールの競技は、50ccのバイクから、クラシックカー、さらにはロケットエンジンを搭載したロケットカーが出場する部門まで、世界最速の称号とプライドをかけて熱い戦いが繰り広げられています。

そこには世界の名だたるメーカーの名車の名とともに、数々の日本のバイクの名も刻まれています。

しかし、そこにどうしても私たちが気になることがありました。世界で1億台以上が販売されているホンダスーパーカブ。

メイド・イン・ジャパン製品の象徴ともいえる、世界で最も有名なバイク、スーパーカブの名前は記録されていませんでした。

私達は、日本のモノづくりの素晴らしさを世界に示すため、日本国内の精密微細加工業の雄を募り、オールジャパン

チームを結成し、スーパーカブをベースマシンとして、不可能とされる世界最速記録に挑み、2019年世界最速記録を達成しました。

しかし私達の挑戦は終わっていません。50ccクラスのバイクは日本の免許制度もあり、世界で最も進化したカテゴリーです。

小型高性能、高寿命のスーパーカブは、メイド・イン・ジャパンの高品質の象徴として世界中で愛されています。

おせじにも、スピードを出すには向いているバイクではありません。そんなハンディは承知の上で、私達は挑みます。

日本中の知恵と技術を結集し、次なる大記録、平均速度100マイル(時速160km)オーバー、最高速度200km/hに挑もうとしています。

決して簡単なチャレンジではありません。しかし、メイドインジャパンの力を結集すれば世界を驚かせる記録が達成できると

私達は確信しています。ぜひ皆さんのお力をお貸しください。

スーパーミニマムチャレンジプロジェクト  
プロジェクトリーダー 近兼拓史

## ■ 企画者・パイロット紹介



FIM/AMA 50cc+過給器 125cc+過給器クラス 6冠タイトル保持者近兼拓史

### 近兼 拓史 (ちかかね たくし 1962年-) 神戸出身

映画監督。作家。レコードメーカー

世界各地でオートバイ、電気自動車などを用い前人未達のチャレンジを達成し続けるレコードメーカー。その実体験をもとに、数々の作品を生み出している。

日本映画監督協会会員、一般社団法人ジェネリック家電推進委員会代表理事、ラジオ大阪DJ、週刊プレイボーイ記者と多才な顔と肩書を持つ。

主な著書：

80時間世界一周(扶桑社新書) インターメカニカー不屈のプランニング・ブル伝説(DINOBOX) 他

主な監督映画：

映画「切り子の詩」、映画「恐竜の詩」 他

主な経歴：

1990年、鈴鹿8時間耐久ロードレースに、元全日本TT-F1チャンピオン徳野正樹を擁してチーム徳野 with Kiss-FMとして参戦。

1992年、ロシアンラリー-KDX125にて最少排気量走破記録達成！

1993年、FIM オーストラリアン・サファリラリー出場。カワサキモーターズジャパン他のサポートを受け、KSR-50 (50cc) ベースの改造マシンで、世界最小ラリーマシンでの出場記録達成。

1996年、スーパーシェルパでサハリーン一周走破達成！ネフチェゴルスク地震支援現地活動。

1997年、鈴鹿8時間耐久ロードレースに、チームfm laLUZとして参戦。

2005年、FIAT500スバルエンジン搭載プロジェクトでモノ・マガジン年間大賞企画賞 W 受賞。

2006年、インターメカニカー不屈のプランニング・ブル伝説 (DINOBOX) 発刊

2012年、80時間世界一周旅行達成！80時間世界一周 格安航空乗りまくり悶絶ルポ (扶桑社新書) 発刊

2014年、アメリカ横断撮影達成！(ハーレーダビッドソン使用)

2017年、電気自動車燃料代0円日本一周達成！映画「切り子の詩」全国公開。

2018年、スーパーミニマムチャレンジスタート！映画「恐竜の詩」全国公開中

2019年、ボンネビル・モーターサイクル・スピードトライアルズにおいて

FIM&AMA 50cc+過給器クラス、125cc+過給器クラスにおいて世界最速記録6冠達成。

2020年、自立式ソーラーバイク NSX-ES1によって日本東西南北4極制覇縦断に成功 (日本記録達成)


2023年、秋田大瀧村ソーラースポーツラインにてNSX-52を駆り自身のもつ50cc+過給器クラスのレコードを非公認ながら更新した。

# SMC チームサポート体制


2023年12月 1日現在



## 特別協賛


 **NS TOOL** 日進工具株式会社


## 本部 事務局


 **dacapo** 有限会社ダカーポ


## 協賛


 株式会社マルマエ


 **YASDA** 安田工業株式会社

 **白銅** 株式会社


 **C&G** 株式会社 C&G システムズ


 **Hyu-tech** 株式会社ヒューテック


 **S** スズキ機工株式会社

 **JGHEP** 一般社団法人ジェネリック家電推進委員会

 **K9 26** 有限会社K9 26

 **Gcraft** 有限会社ギルドデザイン

 **Hira** 株式会社平プロモート

 **Future's Craft** 株式会社フューチャーズクラフト

## 協力

株式会社NCネットワーク

株式会社飯塚製作所

株式会社カスタム

吉田工業株式会社

株式会社ライン精工

HILTOP株式会社

株式会社みずほ合成工業所

有限会社畑鉄工所

大和ラヂエーター工業株式会社

株式会社 ANA Cargo

ヨシムラ USA

株式会社ディトナ

株式会社スペシャルパーツ武川

Shiun Craft Works

KITAGAWA MOTOR CYCLES

有限会社マリノ・プロジェクト

株式会社カドエンジニアリング

K Y 技研株式会社

多田化工株式会社

株式会社津守合金製作所

株式会社ハーベスト

アルファ・ファンクション有限会社

株式会社エフインク

株式会社日新

FCデザイン株式会社

# SMC プロジェクトメンバー

2023年2月1日現在



SMC プロジェクトリーダー・PILOT  
近兼拓史

SMC プロジェクト本部  
荒谷やよい（有限会社ダカーポ）

SMC 広報サポート  
栗本義丈  
（アルファ・ファンクション有限会社）

SMC サスペンション／車体設計  
羽田隆志（静岡文化芸術大学教授）

SMC マシン製作設計監修  
田中和宏

SMC 車体製作  
中島大和（TPFS）

SMC フレーム製作  
篠原大輔（ギルドデザイン）

SMC エンジン監修  
株式会社武川  
株式会社ディトナ  
FC デザイン株式会社

SMC エンジン製作  
FC デザイン株式会社

SMC フリクションロス監修  
スズキ機工株式会社

SMC カウリング製作  
亀田真嗣（有限会社マリノ・プロジェクト）

SMC カーボンカウリング製作  
赤沼直人（株式会社フューチャーズクラフト）

SMC カウリングデザイン  
角喜弘（株式会社カドエンジニアリング）

SMC カウリング製作 3D スキャン  
株式会社ディー・シーカンパニー

SMC カウリング製作監修  
山口雅三（K Y 技研株式会社）  
倉好亮介（多田化工株式会社）

SMC 特殊部品製作  
藤原多喜夫（株式会社ヒューテック）  
畑 匡行（有限会社畑鉄工所）  
篠原大輔（有限会社ギルドデザイン）  
西村雄城

SMC メカニカルサポート  
平 知恭（株式会社平プロモート）

# NSX-03 世界最速記録の秘密

日本の精密微細金属加工のオールスターメンバーが結集！

2023年12月1日現在



## NS TOOL

日進工具株式会社

### 超精密エンドミル

全ての金属製高性能パーツの製作に日進工具のエンドミルが使用されている。設計性能が最大限に発揮されるのは、切削工具の精度があればこそ！



株式会社アクティブ

超軽量高剛性マグネシウム鍛造ホイール  
限られたパワーで最速を目指すにはバネ下重量の軽減は必須項目



スズキ機工株式会社

超潤滑剤ベルハンマー。  
限られたパワーを有効に使うには、各部の摩擦ロスを減らすことが必須となる。摩擦係数を極限まで低減することができる。



株式会社ヒューテック

超精密金属加工。  
ホイールを受けるステムシャフト等。摩擦系週を極限まで低減するミクロの微細金属加工技術。



有限会社畑鐵工所

スイングフレーム  
バーチャルステアリングシステムのコア部品。強度と高剛性を求められるにも関わらず、複雑な形状。最も製作の難しいパーツ



株式会社 TPFS レーシングサポート

全日本選手権にメカニックを派遣するプロのレーシングサポート。  
ベストな性能を引き出せるのは優秀なメカニックがいればこそ！



白銅 株式会社

非鉄金属素材・金属3Dプリンター造形  
軽量高剛性のマシン作りには、アルミ、チタン合金等の高品質金属素材提供と、高精度な金属3Dプリンターの使用が必須。



大和ラヂエーター工業株式会社

### 超小型インタークーラー

日中気温50度を超えるボンネビルでは、加圧された空気の温度を下げるのが必須。  
インタークーラーがパワー低下を抑える。



有限会社スペシャルパーツ武川

スペシャルレーシングエンジン  
カブ系レーシングエンジンのスペシャリストが選んだベストパッケージエンジン。



FCデザイン株式会社

レーシングエンジンターボ化  
世界に例を見ない最小クラスでのレーシングターボエンジンを設計監修。極限までパワーを絞り出す。



有限会社K9 26

レーシングインジェクション  
ドラッグレースで培った、圧倒的なノウハウと技術でワンオフ燃料マップを製作



明興双葉株式会社

ターボ用ローコンピストン  
レーシングユースに耐えるワンオフのローコンピストンを製作。



株式会社マルマエ

### スイングフレーム

バーチャルステアリングシステムのコア部品。強度と高剛性を求められるにも関わらず、複雑な形状。最も製作の難しいパーツを削り出した。



有限会社ギルドデザイン

アルミ合金目の字断面フロントアーム  
NSXシリーズのコア技術、バーチャルステアリングシステムに欠かせない高精度でのアルミ曲げ加工は芸術品の域。



株式会社フューチャーズクラフト

CFRPドライカーボンの超軽量カウリング  
NSXシリーズの空力ボディが、FRPから更に進化！圧倒的な軽量化で更なる記録更新に貢献している。



# SMCメディア露出データ

2023年12月1日現在

## TVメディア

放送回数 **13**回



Newsこまち  
世界最速の原付



兵庫人物語  
特集:近兼拓史



シブ5時  
特集:SMC



ニノさん  
MC二宮和也



知られざるガリバー  
白銅編



4時キャッチ  
SMC特集



新春特別  
ドキュメンタリー  
SMC



news every.  
世界最速の原付

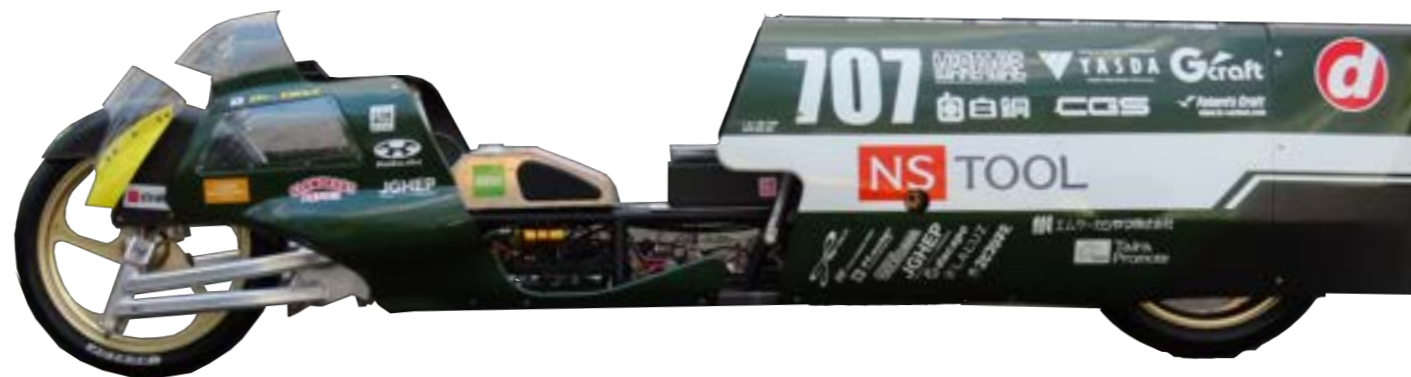
## Webメディア



SMC関連動画総再生回数 **420.8**万回



ヘッドライン掲載回数 **25**回



テレビ、ラジオ、雑誌、新聞からネットメディアまで、圧倒的なメディア露出量を誇るSMCプロジェクト!  
PR効果は抜群!世界記録更新で更なる露出機会の拡大が見込まれる

## 新聞メディア

掲載回数 **22**回



日本経済新聞  
読売新聞  
毎日新聞  
産経新聞  
神戸新聞  
東京スポーツ  
中京スポーツ  
大阪スポーツ  
九州スポーツ  
日刊工業新聞  
日本物流新聞  
丹波新聞  
北近畿経済新聞  
他

## 雑誌メディア

掲載回数 **24**回



モトチャンプ  
発行部数: **10**万部  
掲載 **13**回



週刊プレイボーイ  
発行部数: **20**万部  
掲載 **4**回



モノ・マガジン  
発行部数: **8**万部  
掲載 **2**回



Mr.Bike BG  
発行部数: **12**万部  
掲載 **2**回



Moto NAVI  
発行部数: **5**万部  
掲載 **2**回

## 放送回数 **52**回 ラジオメディア



近兼拓史の  
ウィークリーワールドニュース

関東圏関西名古屋圏をフルカバーエリア内人口 6200万人



ブルーオーシャン他関東圏関西圏で多数出演



## ボンネビルモーターサイクルスピードトライアルとは？



世界中で最も速いモーターサイクル “公認世界最速” を決める

AMA（全米モーターサイクル協会）& FIM（国際モーターサイクリズム連盟）主催の公式競技会

「ボンネビル モーターサイクル スピード トライアルズ」は、クローズドサーキットではなく、

真夏の日中は摂氏 50 度を越える、ボンネビルソルトフラッツと呼ばれる干上がった塩湖平原で行われる世界屈指の過酷なモータースポーツ競技。

指定された直線コースでどれだけ速度を出せるかを競う 100 年以上続く「ランドスピードレーシング」という公認競技会。

車両の排気量、スペックごとに細かくレギュレーションが分けられ、それぞれのクラスレコードに向けて、世界各国より挑戦者がボンネビルを訪れる。

レギュレーションは、クラス、排気量により定められた 5 マイルから 11 マイル（約 8km～17.6km）のコース中に設けられた計測区間 1 マイルの平均スピードが記録となる。

暫定的レコードが取れた場合、決められた時間内に同じコースを逆から走りスピードを計測し、往復の平均スピードが公式記録として認定される。

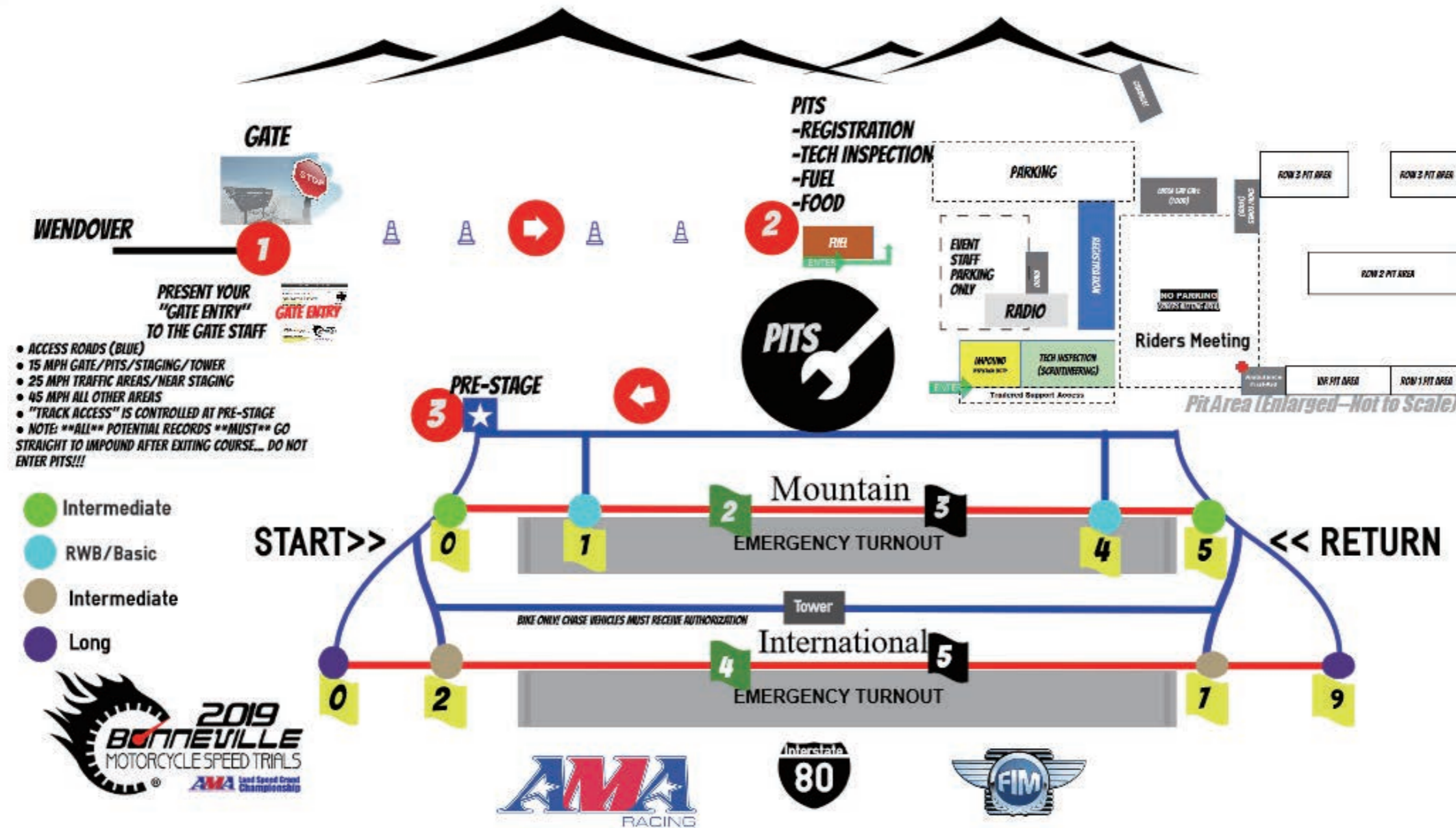
レコードを獲得するには、絶対的なスピードはもちろん、1 マイルの計測区間を最高速度で走り切る耐久性も必要となる。

この厳しいルールで認められた記録が世界最速記録としてモーターサイクルの歴史に名を残す事になる。

このレースに賞金は無い。与えられるのは名誉だけ、得られるのは、その地に立ってチャレンジしたというプライドだけである。



## 最高速度世界記録認定の条件



ボンネビルでの世界記録認定は非常に厳しいものとなっています。

まずは1度目の走行 (Qualify) で全長 10 マイルの直線コース中に設けられた、複数の 1 マイルの計測区間での平均速度が計測されます。

暫定で計測区間での世界最高速度記録が達成されたマシンは、まだその段階では記録達成とは認定されません。

記録へのチャレンジ権が与えられたとみなされ、必ず2度目の Record Return Run を走行し記録を再計測しなければなりません。

この2回の計測の平均速度記録が既存の世界記録を超えていた場合、はじめて世界新記録として認定されます。

スピードガンでの計測の様に瞬間最大速度ではなく、複数回の 1 マイル平均速度である事が記録の価値を高めています。

## SMC チーム世界最速記録達成の方程式



## =世界最高速度達成が可能!?

SMC チームが挑む絶対的世界最高速度記録。このチャレンジによる新記録達成の可能性は根拠の無いものではありません！

髪の毛に文字を彫ることさえ可能な世界最高の工作精度を持つ NSTOOL の切削刃物。

そんな超精密工具の性能を極限まで引き出す国産マザーマシンメーカー。

そんなマザーマシンを自在に操ることが可能な、数々の日本精密微細加工企業。

強度と軽さを求められるチタン合金やアルミ合金を最速最適な状態で即納できる白銅

空気抵抗軽減の為、世界で最も低く、最も進化した2輪操舵システムであるバーチャルステアリングシステムを設計した羽田隆志教授。

さらに、脅威の摩擦低減技術で世界のフリクションロステクノロジーをリードするスズキ機工が誇るベルハンマーのサポート。

ミクロの公差で削り出すヒューテックの超絶加工技術、更なる最先端のシークレットテクノロジーも SMC チームは入手しています。

単純な技術のかけ算が世界記録に直結するものではありません。

しかし SMC チームの行うプロジェクトは、かつてない規模と業種の壁を越えた日本最高のモノづくりテクノロジーの集合体、

日本製造業、夢のオールジャパンチームの挑戦とも言えるものです。

# SMC 2024年世界最速記録更新チャレンジマシン NSX-52仕様



## NSX-52諸元

排気量：49cc / カブ系4ストローク横型エンジン改 インジェクション+小倉クラッチ製スーパーチャージャー

出力：14PS / 14500rpm

車体重量：81kg

車体寸法：全長：2985mm 最大車高：750mm 最大車幅：52mm

フレーム：素材 航空機用クロモリパイプ+アルミ

カウリング：素材 CFRP（設計：株式会社カドエンジニアリング / 製作：株式会社フューチャーズクラフト）

タイヤ：DUNLOP Moto3（フロント：90/80R17 リア：115/75R17）

世界最速記録：AMA APS BG 50F1マイル平均 世界記録達成 / FIM IA1 B I 50F 1マイル平均 & 1km平均 世界記録達成

※ 2019年に世界最速記録を達成したNSX-51を車体の安定性、剛性を増しながら更に4kg軽量化、エンジンの全域に渡るパワーアップにも成功している。

## 2023年の秋田公開テストでは世界最速記録を更新！

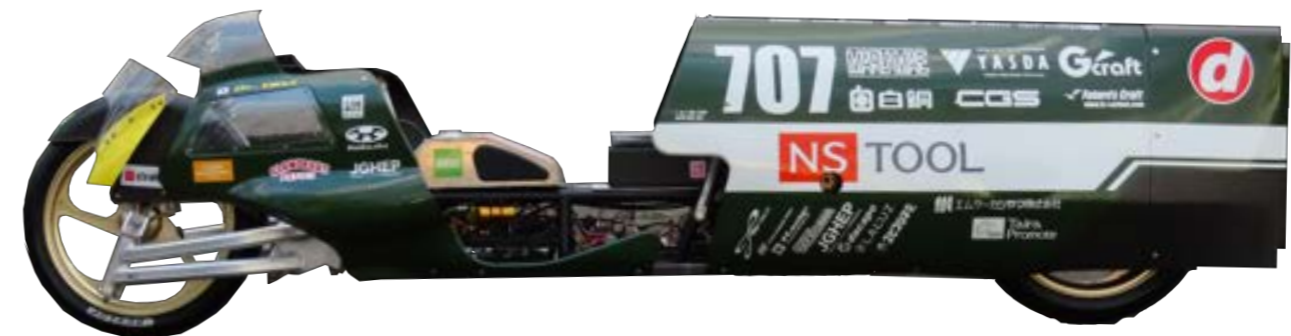
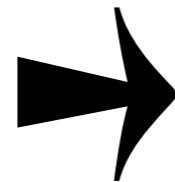
2019年 SMC チームの NSX-51 は HONDA スーパーカブをベース車両としたランドスピードレーサーとして世界中のメディアから圧倒的な注目を集めました！

しかも出場した 50cc+ 過給器クラスで 1 マイル平均 101.77km/h、最高速度 128.63km/h という世界最速記録を達成！

BMST100 年の歴史上はじめて平均 100km/h オーバーという金字塔を達成しました！

しかし私達はまだ満足していません。日本の精密微細加工技術の力を合わせればまだまだ先に行けるはず！

不可能とも思える平均速度 100 マイル (160km/h) オーバーを目指して！私達は今年も世界最速記録に挑戦します。



HONDA スーパーカブ 50 (49cc)  
4ストローク空冷単気筒 3.7 馬力  
乾燥重量 96kg

NSX-52(49cc)  
4ストロークインタークーラーターボ 14 馬力  
乾燥重量 81kg

# SMC 2024 プロジェクトスケジュール



**2023年8月25日～9月2日**

**2021BMST競技期間**

NSX-51(50cc+スーパーチャージャー) NSX-02(125cc+ターボ) Wエントリー  
FIM AMA 50cc+過給器クラス、125cc+過給器クラス、両車ともに大会中止につき出場無し

**2023年10月20日**

**NSX各車両帰港**

マシンチェック、塩害による電気系の再整備箇所確認  
必至パーツの発注と、分解整備開始

**2023年11月21～23日**

**第一回公開テスト走行**

秋田大潟村ソーラースポーツラインにて開催  
NSX-52(50cc+スーパーチャージャー)  
NSX-03 (125cc+ターボ)

**NSX-52が平均速度117.05km/hの世界最速記録更新を達成！** NSX-03はメカニカルトラブルで出走無し。

**2023年12月**

**各種パーツ発注・各種テスト開始**

**2024年5月**

秋田大潟村ソーラースポーツラインにて  
第二回公開テスト走行  
NSX-52 NSX-03 最終テスト

**2024年6月マシン船積み**

**2024年8月末日～9月初旬**

**2024BMST競技期間**

**2024年11月中旬**

**2024SMC 成果報告会 開催予定**

## SMC へのご協賛ご協力をお願い

おかげさまで SMC プロジェクトは、2019 年の挑戦では6つの世界最速記録を達成出来ました。同時に、日本のモノづくりに対する世界各国からの、更なる大きな期待も感じております。記録更新を目標に挑んだ2020年、2021年は、新型コロナウイルスという壁に阻まれ、その後も悪天候に阻まれ苦しい雌伏の時を過ごすしましたが、2023年11月NSX-52が大潟村ソーラースポーツラインで最速記録を更新致しました。2024年のNSX-03(125cc) NSX-52(50cc) のマシンづくりでは、各マシンの 1000 点にも及ぶ全ての部品の形状や材質を見直し可能ならばネジの 1 本まで再検証し性能を高めて行きたいと思っています。

国内製造業に関わる全ての企業の皆様には、このオールジャパン体制のプロジェクトにぜひ自慢の技術を持ち寄り共にマシン作りにご参加頂き、一緒に世界新記録を目指して頂ければ幸いです。大企業から自営業の皆さままで、日本のモノづくりを愛する、お志しのある企業であれば大歓迎です。また各部品の設計におきましては、腕に覚えのある御退職者の皆さまや、理想に燃える学生の皆様のご参加も歓迎です。お手伝い頂きたいことも多々あると思いますので、先ずはお問い合わせ下さい。

意義あるメセナとして、広告媒体としてご評価ご協賛頂けることも歓迎いたします。

世界で1億台以上が販売されていますホンダスーパーカブ、そのどこにでもある普通のエンジンが世界最速記録を達成すればどれほど多くの普通の人びとに勇気と共感を与えることができるかを、昨年痛切に感じる事ができました。日本のモノづくりの素晴らしさが、国内のみならず世界の人々にますます伝わりますよう、ぜひ皆さまのお力をお借りして共にプロジェクトを進められることを楽しみにしております。

2023年 12月吉日

SMC プロジェクトリーダー・パイロット  
近兼拓史

お問い合わせ：SMC 本部：〒662-0916 西宮市戸田町 5-31 S-FORT西宮 2 階 有限会社ダカーポ内  
Tel：0798-22-0913 Fax：0798-22-0910 e-mail：info@dacapo.jp（担当：近兼・荒谷）

SMC企業サポートプランは下記プランをベースにお申込みください。

サポートメニュー	ベーシック サポーター 1口 50万円	モデレート サポーター 2口 100万円	ベーシックプロデュース サポーター 6口 300万円	サブ・プロデュース サポーター 10口 500万円	プロデュース サポーター 20口 1,000万円	メインプロデュース サポーター 40口 2,000万円
貴社製品使用权	○	○	○	○	○	○
バイク本体への貴社ロゴ表示権	小	中	中大	大	特大	特大 (&貴社コーポレートカラー使用)
パイロットユニフォームへの貴社ロゴ表示権	小	小	小中	中	大	特大 (&貴社コーポレートカラー使用)
SMC各種サポートノベルティー製作権	×	○	○	○	○	○
SMCロゴ及び車体意匠商用使用权	×	×	×	△	○	○
SMC動画使用权	×	×	×	○	○	○
SMC写真使用权	○	○	○	○	○	○
SMCロゴ使用权	○	○	○	○	○	○

● 貴社製品使用权

SMCに使用するマシンに貴社の製品や取扱品を使用し、それを公示する事ができます。使用製品は基本貴社提供ですが、高額製品の場合応談も可能です。

● バイク本体への貴社ロゴ表示権

SMCに使用するマシンに貴社のロゴが表示されます。ロゴサイズはプランによって変化します。メインスポンサーはマシン主要部のカラーを貴社のコーポレートカラーに塗る事が可能です。

● パイロットユニフォームへの貴社ロゴ表示権

パイロットのレーシングスーツに貴社ロゴを表示出来ます。ロゴサイズはプランによって変化します。メインスポンサーはスーツ主要部のカラーを貴社のコーポレートカラーに合わせる事が可能です。

● SMC各種サポートノベルティー製作権

SMCを応援するステッカー、Tシャツ、ボールペンなど各種ノベルティーをMSC指定のロゴで製作する事ができます。貴社ロゴと併記し無料の販促物として数量の制限無く使用できます。

● SMCロゴ及び車体意匠商用使用权

SMCのロゴ及び車体のデザインや意匠を使用した商品の販売が可能です。実際に競技で使用した製品や部品のレプリカ等も販売可能です。契約年度内に認定した製品には3年間意匠使用料が発生しません。サブ・プロデュースサポーターは無償期間が1年間となります。

● SMC動画使用权

SMCが撮影し許可した映像を商用をPVやCM等を含め無料で使用できます。HPやSNSでの使用も可能ですが、著作権を放棄した訳では有りませんので2次利用は不可となります。

● SMC写真使用权

SMCが撮影し許可した画像を商用をPVやCM等を含め無料で使用できます。HPやSNSでの使用も可能ですが、著作権を放棄した訳では有りませんので2次利用は不可となります。

● SMCロゴ使用权

SMCのロゴを非商業利用に限りホームページやSNSなどで自由に使用出来ます。

● 他にも諸々追加案件ご相談承ります

各種イベントへの車両展示やインタビュー記事やレポート記事の掲載など、オプション案件もお気軽にご要望ご相談ください。

## スーパーミニмумチャレンジプロジェクト協賛申込書

スーパーミニмумチャレンジの主旨に賛同し下記の通り協賛致します。

ご記入日 令和 年 月 日

フリガナ		
貴社名 貴団体名 ご氏名	印	
ご住所	(〒      -      )	
電話番号	(      )	
FAX 番号	(      )	
E-mail		
フリガナ	所属部署・役職名	
ご担当者名		
ご協賛内容	協賛      プラン      口	
	金額      円	
特記事項		

ご記入頂いた協賛金を下記いずれかの指定口座にお振込みください。

振込	● 三井住友銀行 世田谷支店 (788) 普通 5589026 有限会社ダカーポ
指定口座	● ゆうちょ銀行 記号 14280 番号 3434111 有限会社ダカーポ

※ 誠に勝手ながら、振込手数料につきましてはご負担頂けますようお願い申し上げます。

スーパーミニмумチャレンジ本部(有限会社ダカーポ内)

〒662-0916 西宮市戸田町 5-31 セレニテ西宮一番館 2F

Tel : 0798-22-0913 Fax : 0798-22-0910 e-mail : laluz@uranus.dti.ne.jp

担当 : 近兼拓史 荒谷弥生